



農大



コロナに注意しての販売実習 (10月)



オープンキャンパスの様子 (7月)



オープンキャンパスの様子 (7月)



雇用就農相談会の様子 (6月)

「自分さがし」と

「人との出会い」

校長 河田 強

現在、本校で農業を学んでいるのは、学生四十九名、農業を志す研修生六名、公共職業訓練アグリチャレンジ科の訓練生八名が在籍しています。

コロナ禍の中、行動自粛や行動制限のある学生生活を送りつつ、一年生は入学して、約半年が経過しました。新しい友人もできて、学生同士で楽しそうに話をしている姿をよく見かけます。

ところで、学生の皆さんは入学式でお話したことを憶えているでしょうか。自分さがしを行って欲しいこと、人の出逢いを大切に挨拶と返事に心掛けて欲しいとお話しました。「自分さがし」は「自己概念」とか「自己理念」の探求でもあります。全校集会の度に、そのヒントをお話してきました。

今一度、農業を通じた「自分さがし」にしっかりと取り組んで欲しいと思います。また、二年生のインターンシップや雇用就農相談会では、いろいろな人との出逢いがあったと思います。挨拶や返事はしっかりとできているでしょうか。

これからの人生の一助となる時間・空間を大切に日々過ごしていきましょう。



台湾へ農大産の梨を輸出!



果樹コースはニホンナシ圃場において2019年1月から3年間にわたり、GlobalGAPの認証を取得しています（1年ごとに審査を受けて更新）。世界基準の生産工程管理のもと、自分たちの育てた梨の品質が世界でどのように評価されるのかを実感するため、本年度は台湾に輸出を行いました。

コロナ禍の影響により現地に行って販売することはできませんでしたが、売り場と農大をオンラインでつなぎ、店員さんたちとの意見交換を行いました。聞きなれない中国語に戸惑いながらも学生たちは自分たちの思いをしっかりと伝えることが出来、国際的な感覚を養うことが出来ました。



7月26日

8月2日

8月25日



輸出に向け本格的に勉強スタート！
検疫の仕組みについて講義を受けました。



輸出の日程や販売方法について
オンラインで打ち合わせを行いました。



いよいよ選果！
害虫の侵入がないか丁寧に選果して箱詰めしました。

研修科では、社会人を対象としたスキル

1 スキルアップ研修（長期）

果樹、野菜、花き、作物、畜産から1部門を選択し、作付け・管理計画の作成から、管理作業の実践、出荷後の収支決算までの模擬経営を経験していただき、就農品目の栽培技術及び経営感覚の習得を目的とした1年間の研修を年2回（4月、10月）、年間15名を定員として実施しています。管理作業について、野菜専攻は研修科圃場で行い、その他部門は養成課程各コースの圃場等で行います。



輸出の取り組みの様子を日本海テレビさんに追跡取材していただきました
最初は困惑していた学生達も次第に慣れて堂々と対応していました



9月10日



販売スタート！
台湾の有名百貨店に農大産の「新甘泉」が並びました。
店頭には学生が写ったポスターも張られました。

販売初日には店員さんとの意見交換
を行いました。
通訳さんを交えての会話で国際交流を
感じさせる場面でした。

アップ研修(長期・短期)を実施しています。

2 スキルアップ研修 (短期)

県内で栽培される主要野菜4品目(白ねぎ、ブロッコリー、スイカ、ミニトマト)について、植付準備から収穫までの一連の栽培管理を約4か月間で経験することができる品目別の基礎研修を実施しています。



農業インターンシップ



今年度も8月中旬から9月中旬にかけて、養成課程の2年生20名が26日間の農業インターンシップに出かけました。農業インターンシップは、県内外の先進的農家や農業法人に学生を派遣する取り組みで、高度な栽培技術や販売のノウハウ、地域とのふれあいなどを、農家の皆様と一緒に作業等をしながら、身をもって学びます。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、研修先は県内を中心とし、20名の2年生のうち、16名が県内で研修し、4名が県外で研修しました。

県外の研修先は千葉県、大阪府、広島県、島根県で、そのうち2名の学生は、研修先で寝泊まりしながらの研修でした。どの学生も緊張しながらも、農業大学校の中では得ることのできない、かけがえのない経験ができたのではないかと思います。インターンシップ後は報告会を開催し、各自様子を発表しましたが、1年生も来年に向け参考になったようです。

農業インターンシップに出かけた20名の学生の皆さん、お疲れ様でした。そして学生を受け入れてくださいました農家の皆様、受け入れ先を紹介いただいた普及所の皆様、本当にありがとうございました。

果樹コース

さとうともや
佐藤智也

私は、8月26日から9月17日までの約3週間、広島県三次市の平田観光農園で研修をしました。

平田観光農園には、多種類の果樹があり、動物や自然と触れ合える施設もありました。研修期間中にブドウ、モモ、ブルーベリー、イチゴなどいろいろな圃場で作業をさせていただきましたが、施設全体の把握や接客対応が多く大変でした。でも、従業員の皆さんのサポートのお陰で作業の流れに付いていくことができました。

約3週間の研修期間で一人一人のお客様に笑顔で接することの大切さや観光農園の営業など多くのことを学ぶことが出来ました。これからも平田観光農園で学んだことを活かしていきたいと思います。



野菜コース

まやまゆうき
真山祐輝

農業インターンシップ研修で北栄町の前田農園に行かせていただきました。スイカ、ナガイモ、ミニトマト等野菜の生産と農産加工品の製造と販売をされている農家さんです。

研修中前田さんに話をきくなかで「売る」ということの難しさを学びました。農産加工品は自家製野菜や国産野菜を使って商品1つを作るのにも時間とお金を使います。売るためのラベルのイラスト選び、原材料名や栄養成分表示などを作るのにも手探りで、多くの苦労があったそうです。

参考になったことは、商品を守るための宣伝方法としてSNSなどのメディアの使い方や、お金のかからないテレビ取材の受け入れなどです。

前田さんは1つ1つの作業を丁寧に行っておられました。また、働きやすい環境作りにも力を入れておられ、将来、農業経営を目指す自分にとって大変参考になりました。



花き コース

やまもと そう
山本 創

私は、北栄町にある株式会社Agri杉川で研修をさせていただきました。Agri杉川では、主に夏はスイカ、冬はストックを栽培されています。

研修中の主な作業はストックの八重鑑別や、ハウスに掛けられた寒冷紗の取り外し、フラワーネットの設置などを行いました。花に限らずコマツナの出荷作業や、稲刈りまでさせていただきました。皆さんのお人柄も良く、楽しく、そして貴重な体験が出来ました。

研修を通して、農家さんのほ場の状況を把握する力はすごいと感じました。細かな変化に気付くには、作物の状態、天気の変化を見極めることが必要だと思います。私も学校で、変化に気付く力を身に付け、今後に活かしていきたいと思います。(左から4人目)



作物 コース

いわもと しゅんや
岩本 俊哉

私は大山町の農家、梅實茂之さんの所で研修をさせていただきました。

梅實さんは主に稲、大豆、ネギの栽培をされており、他には約30頭の和牛も飼育されておりました。

主な作業内容は前半がネギ畑の草取りや水田のクサネム取り。後半は稲刈りや粃摺り後の粃殻運びでした。他にも毎日の研修終わりに1時間ほど牛舎の作業を1通りさせていただきました。

研修を通して、効率よく稲刈りする方法や作物コースにはない機械での作業（ホイールローダー、ブームスプレーヤー、ネギの乗用管理機など）を学びました。

また、作業前に計画を立てる事やコミュニケーションの大切さも学びました。

私は今回の研修で機械の整備も少し体験させていただきましたが、卒業後就職したときにその経験も生かしていこうと思いました。



畜産 コース

もりふじゆうと
森藤 佑人

私は、千葉県富津市にあるマザー牧場さんで研修させていただきました。

マザー牧場は250haもの広さがあり関東でも最大級の観光牧場となっております。

牛や羊、馬などの動物だけでなくフルーツ農園や遊園地などもあり一日中楽しめる場所となっております。前半は観光部門で、後半は酪農部門で研修させていただきました。

観光部門の主な作業内容は、各動物たちの部屋の掃除やふれあい広場の糞掃除、こぶたのレースの抽選券配布の手伝いなどを体験させていただきました。酪農部門では、子牛の部屋の掃除や乳牛の手搾り体験の手伝い、乳牛の搾乳などを体験させていただきました。

研修ではたくさんのお客様と話す機会があり、お子様には視線を合わせることや、物事をいかに簡潔に話すにはどうすれば良いかなどを学ぶことができました。今回の研修で得た技術を修農祭などで活かしていきたいと思っています。



学生会頑張っています



学生会長
安養寺陽人

最近、朝晩が寒くて、季節が夏から秋に変わったんだと肌で感じる今日この頃です。約一か月間のインターンシップ研修も無事に終わり一息、と思いきや、稲刈りや校内駅伝、インターン報告会に修農祭準備など、農大の秋は案外忙しくビックリしました。とは言っても、インターン後には久々に会った友達と遊んだり、研修中のことを話したり、農大での日常が戻ってきたと、ほんの少し安心感を抱きました。

今年は、島根農大との交歓会など、外部とのイベントは開催できませんでしたが、内部のイベントは開催でき、校内球技大会、屋外での焼肉会、10月に行った駅伝大会も、記録や景品といったそれぞれの思いを胸に、疾走していました。

修農祭は、今年も例年のように外部を招いての盛大な販売は出来ませんが、学校の一大行事が盛り上がるよう絶賛準備中です。以上、学生会長でした。



令和4年度入学生を募集中です!

農業に関心と意欲のある方、農家非農家を問いません。自営就農はもちろんのこと、最近は農業法人等への雇用就農など就農のチャンスが広がっています。農業を目指す仲間とともに学びましょう。いろいろな就農支援制度を活用することもできます。

募集人員

養成課程農業経営学科30名(推薦入学者を含む)

※出願時に果樹・野菜・花き・作物・畜産のコースを選択

試験日程等

区分	一般入学前期および社会人特別入学前期	一般入学後期および社会人特別入学後期
受付期間	令和3年10月25日(月)~11月12日(金)	令和4年1月4日(火)~1月21日(金)
試験日時	令和3年11月28日(日) 午前9時から	令和4年2月6日(日) 午前9時から
合格発表	令和3年12月3日(金) 正午	令和4年2月10日(木) 正午

資料請求・問合せ先

教育研修担当(電話0858-45-2411、ファクシミリ0858-45-2412)



修農祭2021について

新型コロナウイルス感染症が収束していない状況を受け、参加者及び学生、関係者の皆様の健康・安全面を第一に考慮した結果、11月に開催しております毎年恒例の修農祭は、学生及び職員、外部の方は保護者・直近卒業生の参加に限定して開催することとします。楽しみにいただいている皆様には、たいへん申し訳ありませんが何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

なお、一刻も早く当感染症が収束し、来年こそ修農祭が盛大に行えることを学生及び職員一同願っております。